

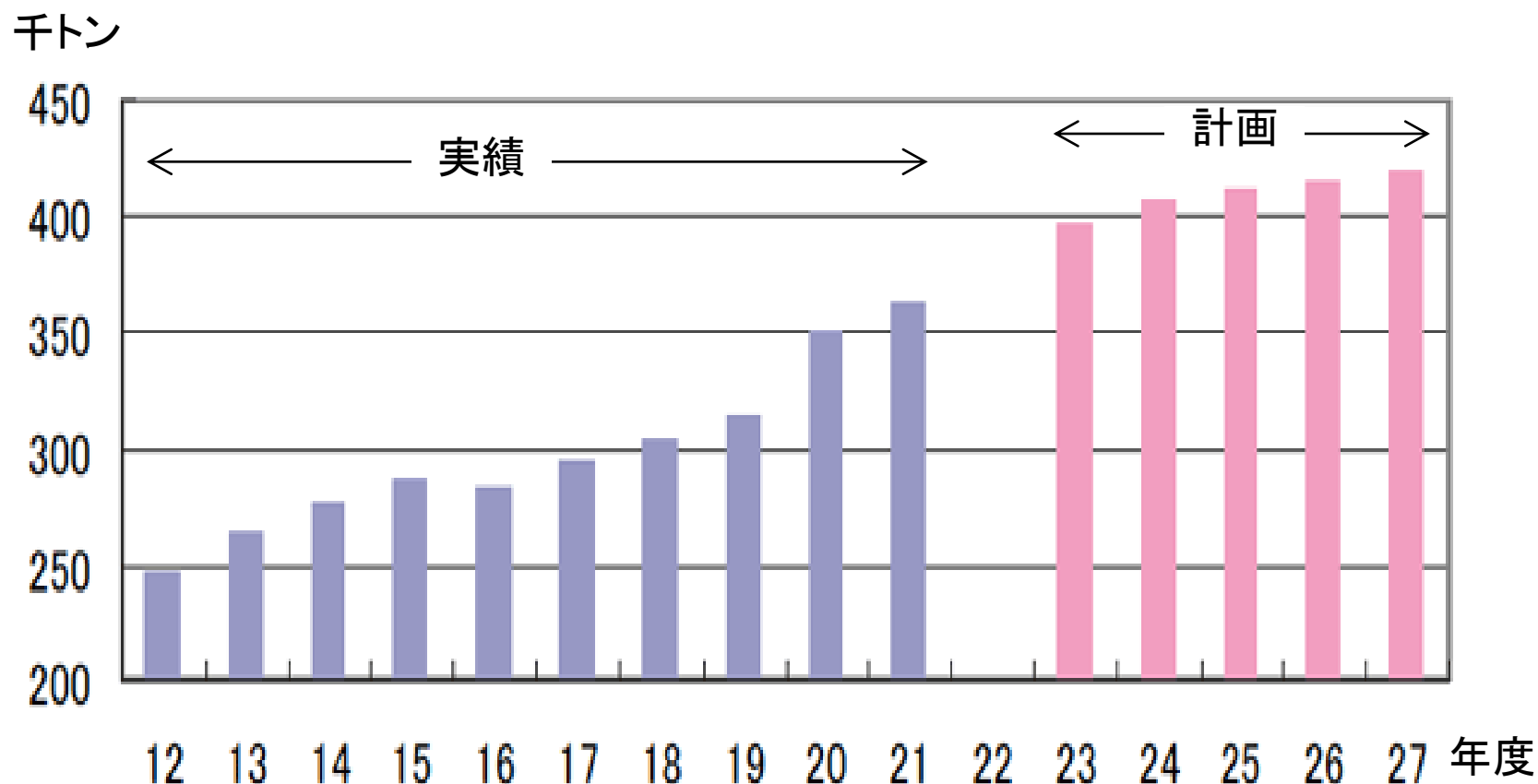
PETボトルリサイクルと 今後の3R戦略

東京都環境局廃棄物対策部

古澤康夫

東京都分別収集促進計画(1)

都内の容器包装廃棄物分別収集量



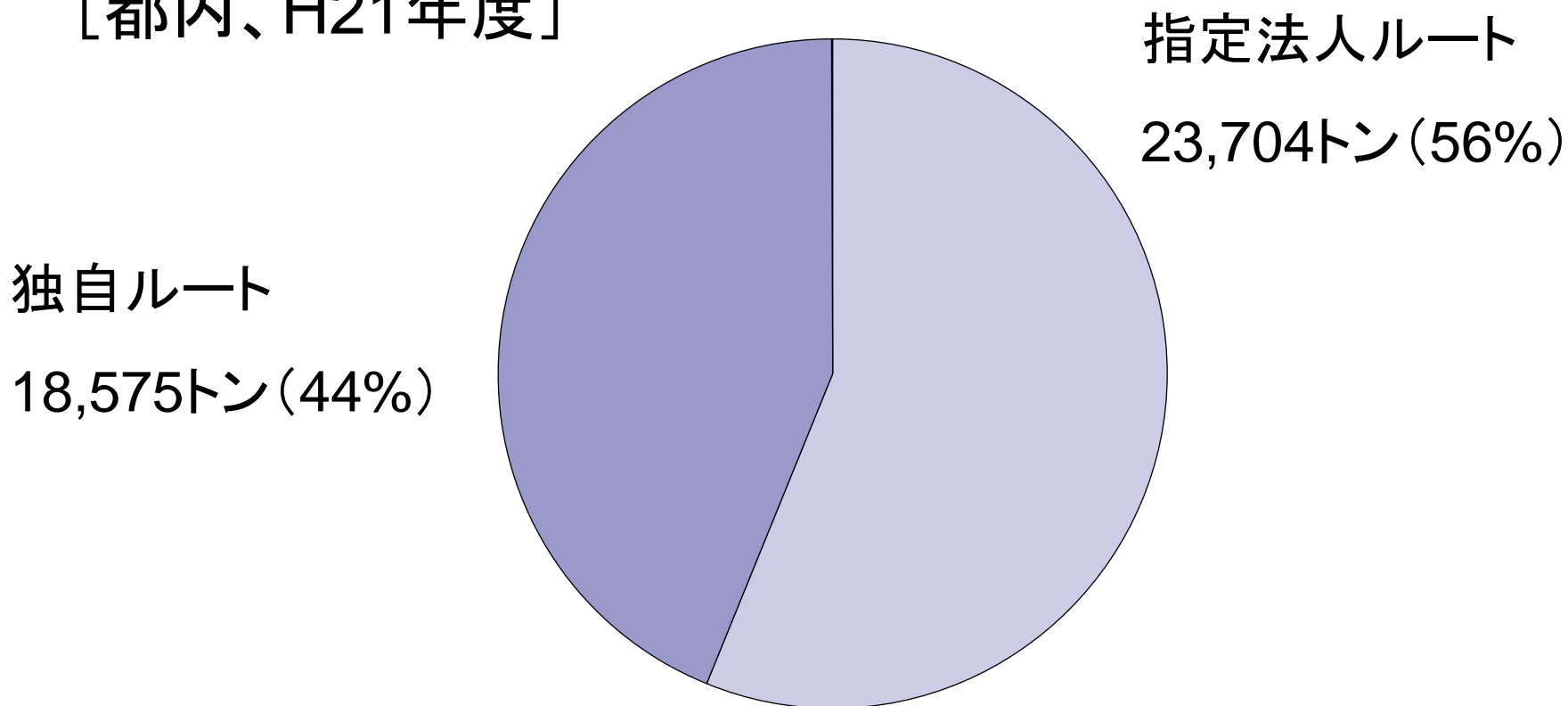
東京都分別収集促進計画(2)

単位:トン

	区市町村数	H27計画量	※H21実績
スチール缶	62	26,698	24,840
アルミ缶	62	16,056	14,397
無色ガラスびん	61	50,898	47,877
茶色ガラスびん	61	28,359	25,693
その他ガラスびん	61	37,373	32,199
段ボール	58	120,625	105,582
紙パック	56	1,814	1,487
紙製容器包装	14	1,802	715
ペットボトル	62	46,180	39,486
プラ製容器包装	49	89,138	58,356
合計		418,943	350,632

PETボトルの再商品化の状況

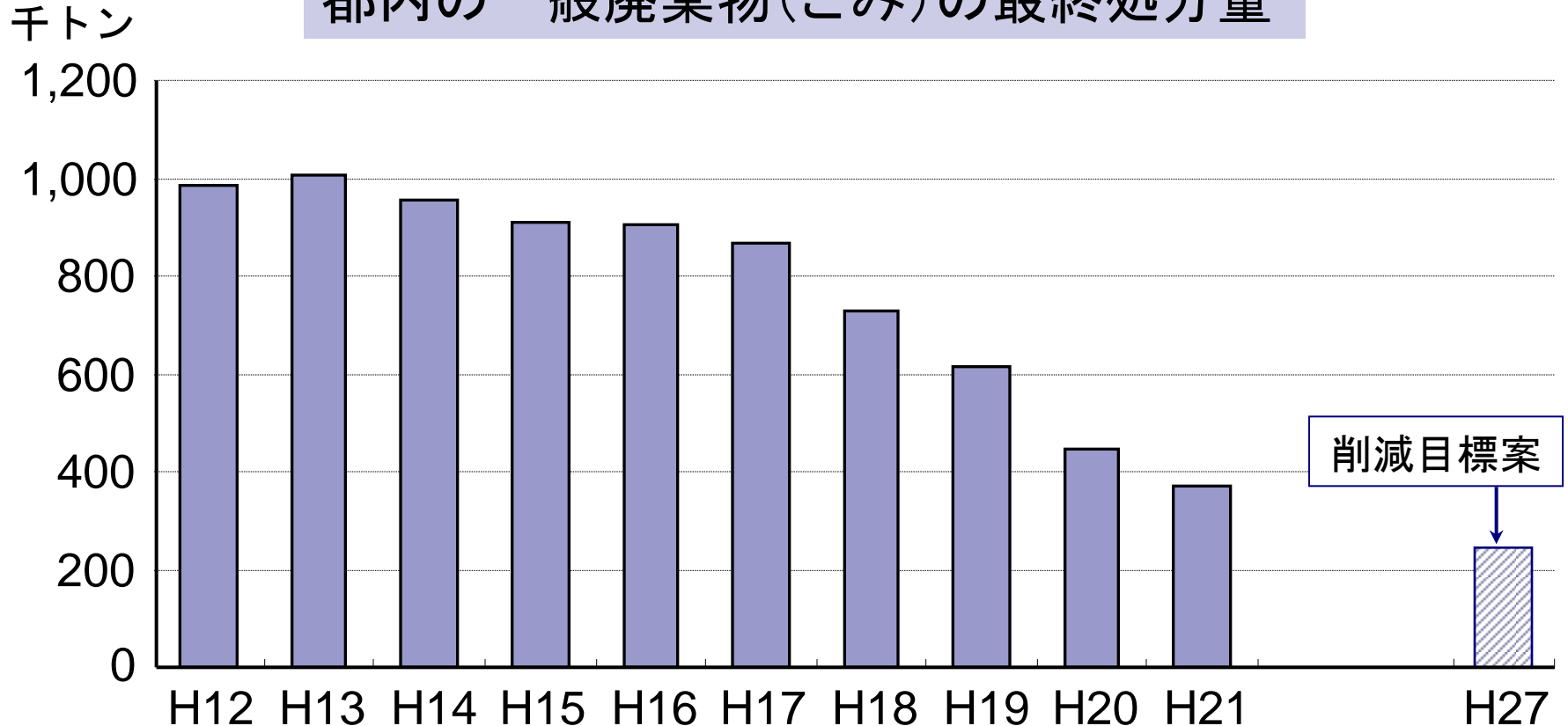
■ 再商品化量の内訳 [都内、H21年度]



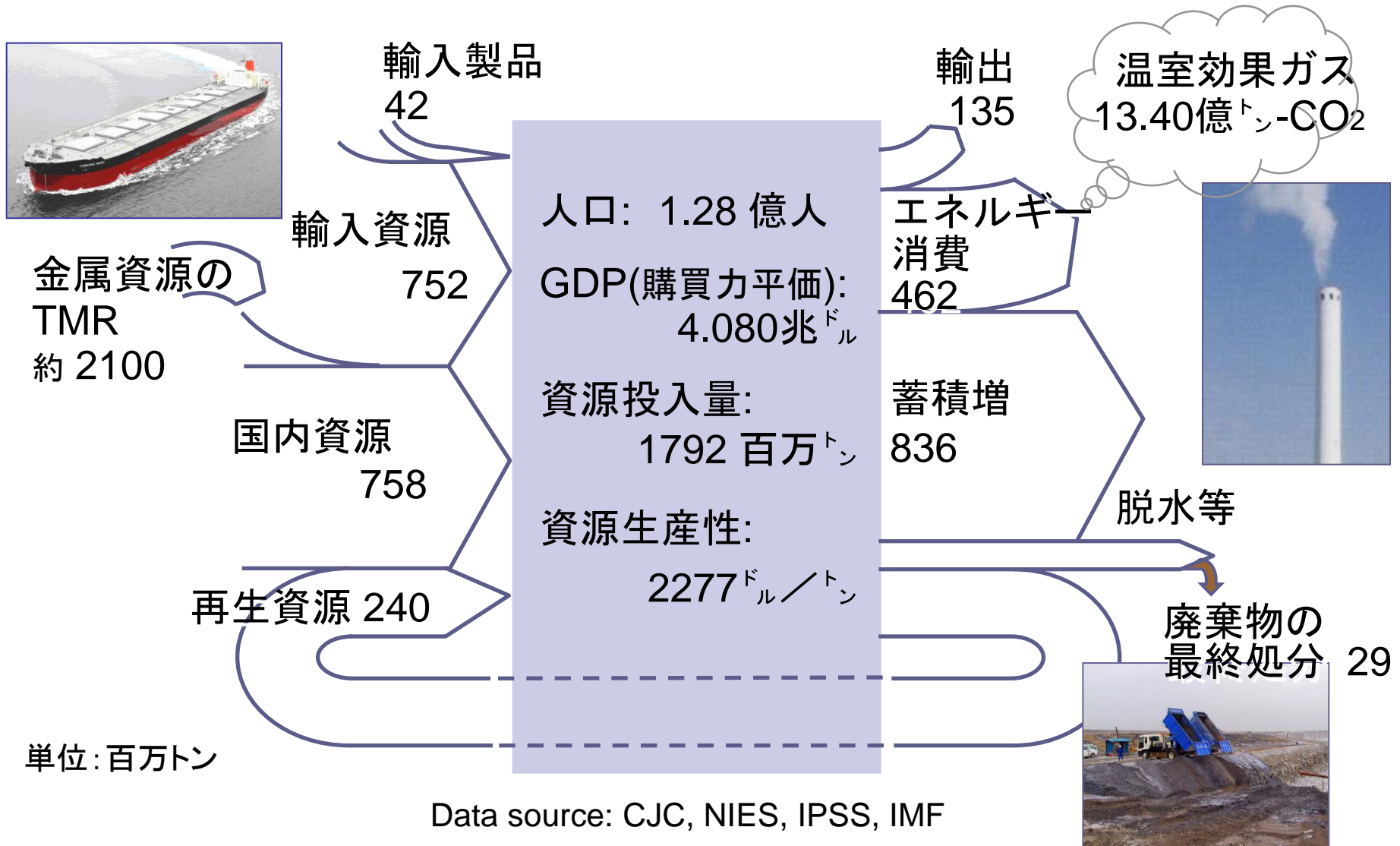
最終処分量削減を目指した「ごみ減量化」

(容器包装リサイクル法制定時の最大の課題 = 最終処分量削減)

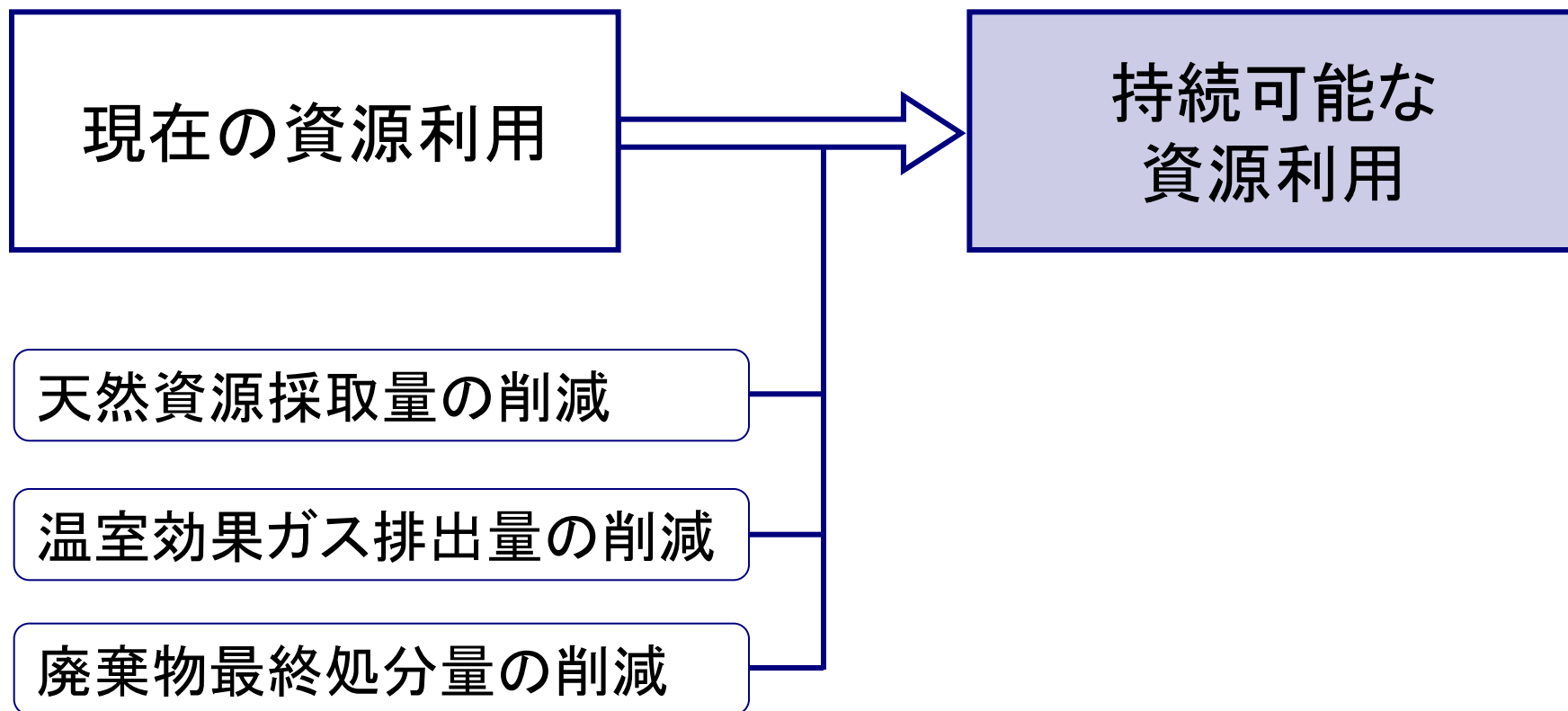
都内の一般廃棄物(ごみ)の最終処分量



日本のマテリアルフロー(2006)



持続可能な資源利用のための3R戦略(1)



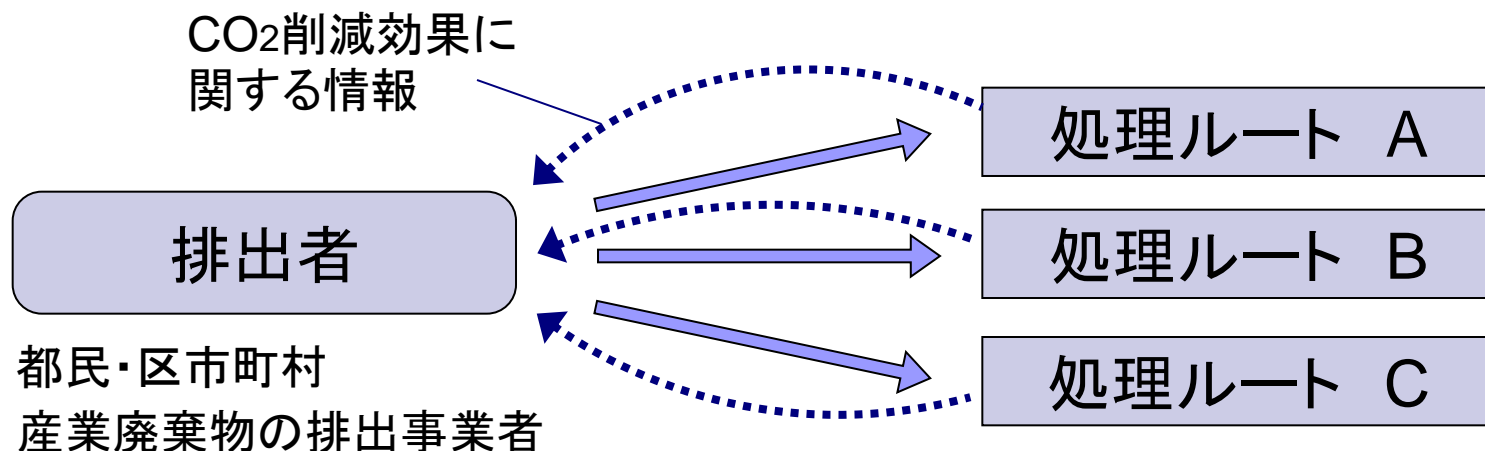
持続可能な資源利用のための3R戦略(2)

- リデュース = 資源利用量の最小化・最適化
- 資源の循環的利用
 - ・マテリアルリサイクルを優先しつつ、ライフサイクル全体での資源消費量・温室効果ガス排出量を考慮
 - ・できる限りクローズドリサイクルにより資源の純度を保つ 等
- 素材の転換
 - ・再生速度に留意しつつ、再生可能資源へ転換
 - ・資源制約の少ない素材への転換 等

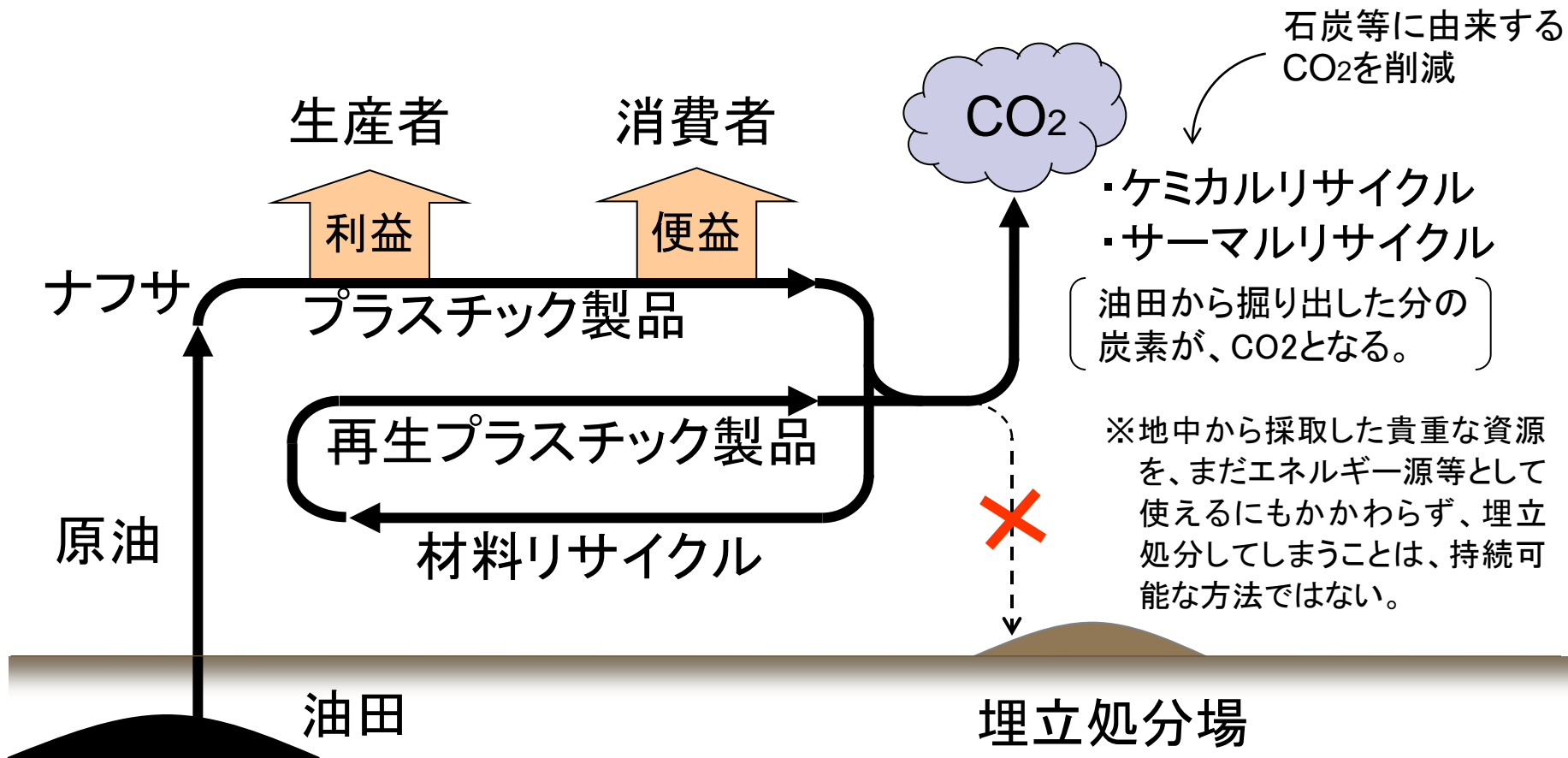
リサイクルによる温室効果ガス削減効果の「見える化」

- 現行の温室効果ガス算定ルールでは、リサイクルのために投入されたエネルギー分のCO₂をカウント。
- リサイクルによるライフサイクルでのCO₂削減効果が排出者に伝わる仕組みが必要。

⇒ よりCO₂削減効果の高いリサイクルが評価される。



プラスチックのフローとCO₂



- プラスチック起源CO₂は、プラスチック製品等の製造・輸入段階で算定すべき。(ただし、再生プラスチック及びバイオプラスチックには対象外。)